

第4学年国語科学習指導案

4年2組 指導者 池永 亜由美

単元 情景描写から心情を読み取ろう「ごんぎつね」

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

情景描写から心情を読み取る

2 本単元で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿
本学級の子どもたちはこれまでに、「白いぼうし」「一つの花」「プラタナスの木」の学習をとおして、登場人物の行動描写や会話文から、登場人物の心情を想像して読み深めてきた。このような子どもたちが、情景描写から登場人物の心情を読み取る学習に取り組む。このことは、文学的な文章を読む上で、情景描写に着目しながら読むことにつながるであろう。

本単元は、登場人物の心情を、行動描写や会話文、情景描写から読み取る学習である。本教材「ごんぎつね」には、登場人物の心情を表している情景描写が点在している。子どもたちは教材を読む中で、登場人物の心情を表す情景描写を見つけ出す（創出）であろう。その際、見つけ出した情景描写から読み取った登場人物の心情と、行動描写や会話文から読み取った登場人物の心情とを比較することを大切にしたい。そうすることで、情景描写に着目して登場人物の心情を読み取ることのよさに気付く（受容）であろう。そのようにして、情景描写から登場人物の心情を読み取った子どもは、他の文学的な文章でも情景描写に着目しながら読むことができる（転移）と考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 行動描写や会話文の他に心情を表している言葉を探すように促す。そうすることで、心情を表している情景描写を見つけ出すことができるようにする。【創】
- 行動描写や会話文から読み取った心情と、情景描写から読み取った心情とを比べて、これまでの読み方とどのように変わったか振り返るように促す。そうすることで、情景描写から登場人物の心情を考えることのよさに気付くことができるようにする。【受】
- 情景描写に着目して登場人物の心情を読み取ったことをもとに、他の文学的な文章の情景描写について問う。そうすることで、他の文学的な文章の情景描写の表現に興味をもつことができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 情景描写の表現に着目して、登場人物の心情を読み取ることができる。
- 文学的な文章を読む際に、情景描写の表現に興味をもつことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○場面の様子や行動、気持ちや性格を表す語句をとらえている。	○登場人物の心情を、行動や会話、情景の叙述をもとにとらえている。	○登場人物の心情や変化について、自分の考えをもととしてしている。

5 指導計画（全6時間）

第1次 初発の感想をもとに、心に残ったことや読み深めたいことについて話し合い、単元の目標を設定する。（2時間）

第2次 叙述をもとに登場人物の心情をとらえる。（3時間）【本時2／3】

第3次 情景描写に着目した読みを振り返る。（1時間）

